

アンカーバード標準施工基準書

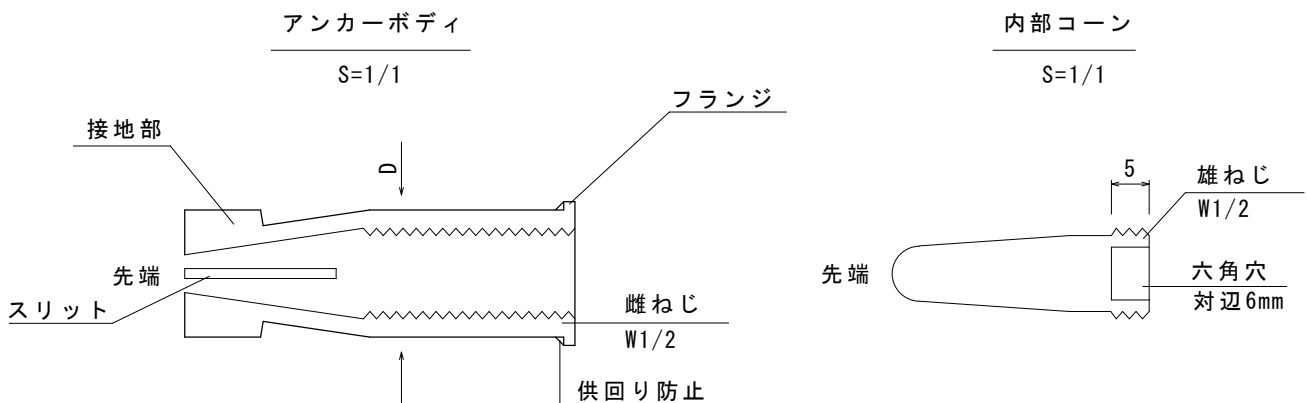
ABW-1251

この『アンカーバード標準施工基準書』に従い、本製品を正しく安全にお使いください。
 本書に記載されている取扱方法や注意事項を遵守しなかったり、不適当な使い方をしますと、本製品が破損・変形したり、周囲の構造物・機械等の損傷、人身事故につながるおそれがあります。これらの場合の損害等に対しては、弊社は一切責任を負いかねます。

【設置施工手順】

- ① 準備
- ② 墨出し
- ③ 穿孔
- ④ コンクリート孔内清掃及び穿孔深さ確認
- ⑤ アンカー本体挿入
- ⑥ 専用治具へのマーキング
- ⑦ アンカーの拡張
- ⑧ 設置完了確認

【部品名称】



① 準備

〔道具を確認する〕

アン カ ー	アンカー種類	アンカーバード
	型番	ABW-1251
	アンカー径(D)	16.8mm
	ねじ種類	W1/2
道 具	穿孔機械	ロータリハンマドリル DH36DPA
	穿孔キリ	φ18mm 3枚刃
	インパクトドライバー	インパクトドライバー WH36DA
	トルクレンチ	KTC製 GEK885-R4-L
	六角ビット	ACHX-6065 対辺6mm

アンカーボード標準施工基準書

ABW-1251

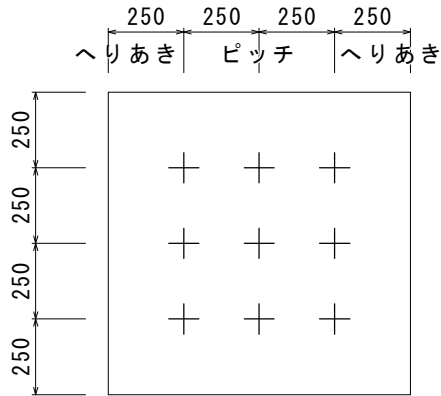
② 墨出し

- ・アンカーのピッチは250mm以上とする。
- ・へりあきは250mm以上とする

※ただし、やむおえずピッチ・へりあきの間隔が250mm以上確保できない場合は、管理者と相談し、事前に引張試験を実施して、安全を確認してください。

墨出し計画図

S=1/25



③ 穿孔

[仕様・機械・工具確認]

仕様	穿孔径	φ 18.0mm
	穿孔深さ	55mm
機械	ロータリハンマドリル	DH36DPA
	インパクトドライバー	WH36DA
工具	穿孔キリ	φ 18mm 3枚刃
	ダストポンプ	

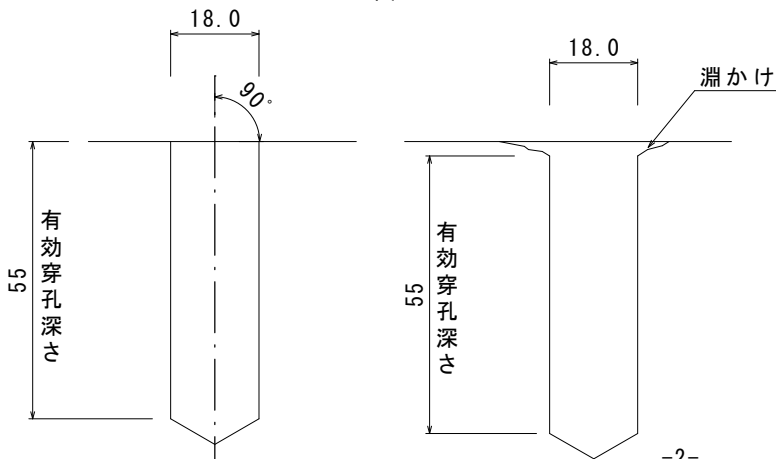
(穿孔)

- ・穿孔深さは55mmを必ず確保してください(図1を参照)
- ・穿孔の際は、コンクリート面に対し直角になるように穿孔機械の傾きを調整し作業を行う。
- ・図2より、コンクリート穿孔断面が、著しく楕円形状または、おにぎり形状となったコンクリート孔は使用しない。

コンクリート穿孔断面図

S=1/1.5

図1



コンクリート穿孔正面図

S=1/1.5

図2

真円	楕円形状	おにぎり形状

アンカーボード標準施工基準書

ABW-1251

③ 孔内清掃及び穿孔深さの確認

穿孔深さの計測 図1

S=1/1.5

(清掃)

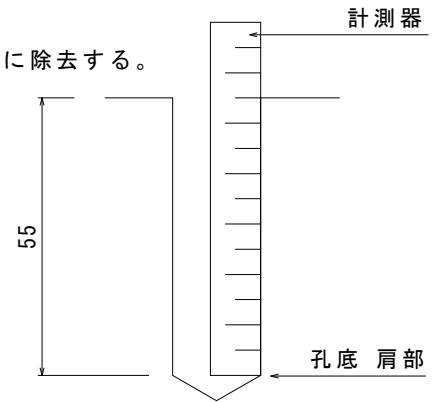
1. コンクリート供試体表面の切粉を除去。
2. 穿孔深さに適合したダストポンプを使用し、切粉が残らないように除去する。
※湿気を帯びた孔内の清掃は、ブラシを使用し切粉の除去を行う。

(深さ測定)

1. 計測器を孔に差込み、穿孔深さの測定を行う。

〔注意事項〕

- i 穿孔深さが浅い場合は、再び穿孔を行う。
- ii 穿孔深さの測定方法は図1を参照。



④ アンカー本体の挿入

(挿入)

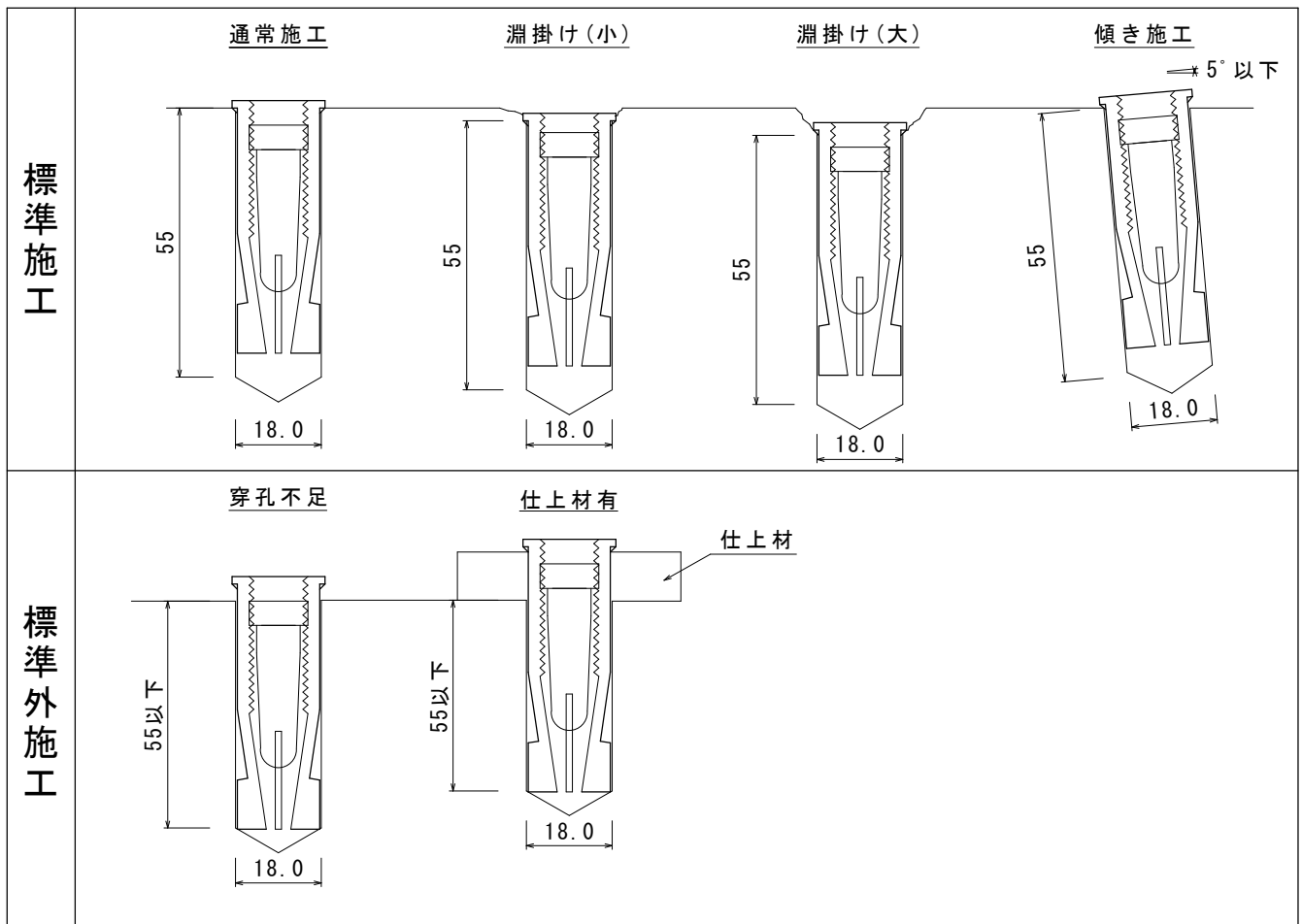
1. アンカー本体を挿入する(図1を参照してください)

〔注意事項〕

コンクリート孔へ無理にアンカー本体を挿入すると、アンカー本体撤去が困難になる可能性があります。

※アンカー本体挿入は図1を参照してください。

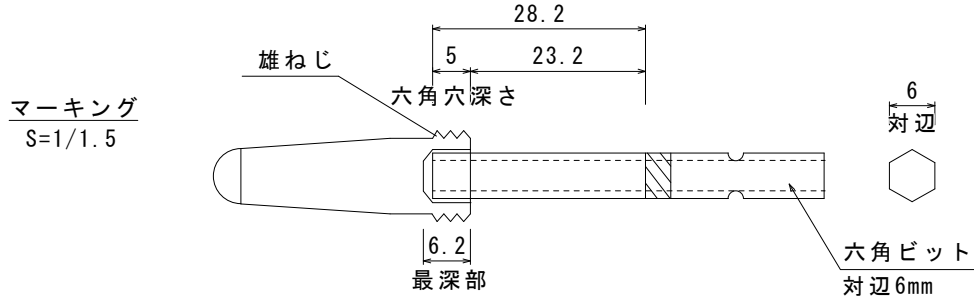
〔図1 S=1/1.5〕



アンカーボード標準施工基準書

⑤ 六角ビットへのマーキング

1. 六角ビット先端から28.2mmの部分にマーキングを実施
コーン挿入量(目安)を確認する為に、必ず実施してください。



⑥ アンカーの拡張

1. 六角ビットとインパクトドライバー(WH36DA)を使用し、内部コーンに回転を加え締め付ける
2. 内部コーンを所定の位置(コーン挿入量23mm)まで締め付ける(図1参照)

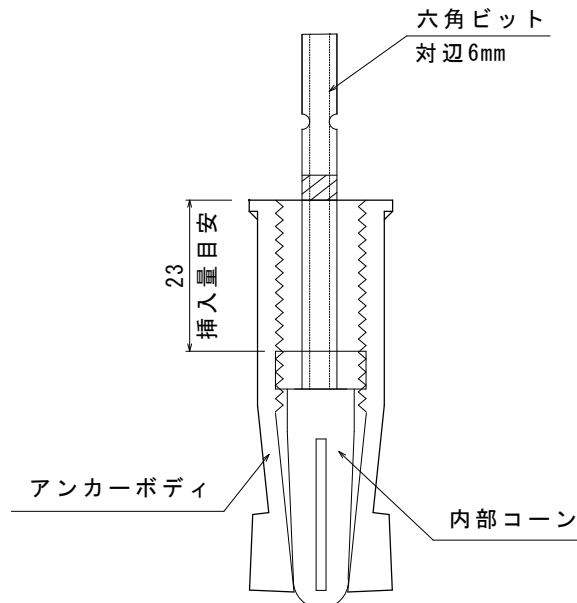
〔注意事項〕

- i 内部コーン挿入量は施工時の施工完了目安として使用してください。
- ii 内部コーン六角穴に六角ビットを確実に挿入してください(内部コーン六角穴が舐める原因となります)
- iii 内部コーン挿入量が不足する場合は、トルクレンチを使用し、増締めを行ってください。

※この時のトルク値目安は $30\text{N}\cdot\text{m}$ ($\pm 3\text{N}\cdot\text{m}$)です。

コーン挿入量(目安) 23mm

S=1/1



⑦ 設置完了の確認

1. トルクレンチを使用し、コーンの締め付トルク値を確認する。

※必要トルク値は $30\text{N}\cdot\text{m}$ ($\pm 3\text{N}\cdot\text{m}$)とする。

※コーン挿入量23mm以下、もしくは $30\text{N}\cdot\text{m}$ 以下だった場合は増締めを実施し、必要トルク値を確保する。

※増締めを実施しても、必要トルク値が確保できない場合は、穿孔孔等の問題が考慮されるため、別の場所にアンカーを設置する。